

会 議 要 旨（意見要旨）

会 議 の 名 称	第 12 期 第 1 回新宿区男女共同参画推進会議
開 催 日 時	令和 8 年 7 月 27 日（月）午前 10 時～12 時
開 催 場 所	本庁舎 6 階 第 2 委員会室
議 長（会 長） 氏 名	神奈川大学法学部教授 井上匡子委員
出席者（委員） 氏 名（人 数） 敬略称、順不同	労働政策研究・研修機構主任研究員 高見具広委員 早稲田大学文学学術院准教授 矢内琴江委員 公募区民 村上耕大委員 公募区民 高田武彦委員 公募区民 宮林華委員 マエダ綜建株式会社 前田恵子委員 株式会社チェックメイト 藤澤薫委員 区立小学校校長会 樺沢一彦委員 町会連合会 木村淳委員 青少年育成委員会 藤塚米子委員 区立中学校校長会 渡部早苗委員 民生委員・児童委員協議会 庄司和徳委員 区立小学校 PTA 連合会 澁谷慧委員 公共施設利用団体（ぐるーぷ・カナリア） 福田功委員 計 14 名
欠席者（委員） 氏 名（人 数）	なし
事務局の出席者	生田 淳（子ども家庭部長）、片岡 丈人（男女共同参画課長）、 谷崎、寺田、鈴木 株式会社創建 大谷

発言者	内容
次第 1 開会	
次第 2 委嘱状交付	
次第 3 区長挨拶	
次第 4 委員自己紹介	
次第 5 事務局紹介	
次第 6 会長・副会長の選出	
	会長：井上匡子委員（委員より推薦） 副会長：高見具広委員（会長より指名）
次第 7 議題 新宿区の男女共同参画施策について ① 新宿区第四次男女共同参画推進計画について	
事務局	≪資料 2 新宿区第四次男女共同参画推進計画≫ ≪資料 3 新宿区第四次男女共同参画推進計画進捗状況調査≫ に基づいて説明 （以下、《資料 3》についてのご意見が出た）
委員	No. 7-1～15 など、事業概要は大きく変わらず、実績内容に大きな差が見られない。所管が異なることはわかるが、どう見ていったら良いか。
事務局	全庁的にまたがる事業もあるので、所管部・所管課ごとに記載している。
委員	（H）列の選択肢の一覧があると良い。
事務局	次回以降工夫する。
委員	①事務局にご説明いただいた事業の抜粋基準を知りたい。それによって評価基準が明確になる。 ②（H）列の目指す効果のところで、実績はどこを見たらよいか。 ③（G）列の方向性の判断基準を知りたい。
事務局	①当課（男女共同参画課）の事業を中心に重要視している事業を説明した。 ②計画策定時に掲げた各事業の目標を掲載しており、その達成度によりどのような効果があるかという視点で事業ごとに選択肢を選んでいく。 ③期間を限定した事業以外は毎年度目標達成状況を確認しながら継続実施としている。次年度以降の方向性を各所管で判断し、当年度中に決めている。
委員	目標設定に満足度を掲げている事業が多くあるが、意識啓発であれば参加人数や理解度をアウトカムに設定するのが自然と考える。目標を満足度とした根拠は何か。
事務局	（H）列に定める男女共同参画意識が高まるという効果を判断する指標として、満足度が適切と判断して設定した。
委員	（H）列が画一的。目標達成できなかった場合原因を分析することもあるのではないか。
事務局	本日配布した令和 7 年度指標達成状況調査票の G 列で、限られたスペースでは

	あるが方向性について記載している。
委員	① (D) (E) 列で令和 7 年度、6 年度実績を掲載しているが、各年度を比較したトレンド分析を実施しているのか。もししていなければ、実績比較して改善の必要性について踏み込めると良いと考える。 ②オンライン講座で 49 名の申込者数というのがあったが、少ない印象を受ける。知名度を上げるための広報として、年代層の分析を行い参加者の増加を図る取組が必要と考える。
事務局	①資料上の記載はないが、毎年度実績評価を行い年度ごとの推移は把握している。 ②区の広報誌、SNS 等で周知を行っているが、中々実績に結びつかない部分もある。参加者へアンケートを取り、入手経路などの分析は行っているところなので、引き続き効果的な周知方法について検討していく。
委員	①各事業ごとの課題の抽出、分析を行ってほしい ②所管課が各事業ごとに評価を行ったうえで、意見をつけてほしい ③ジェンダーの視点での行政評価に踏み出してほしい
事務局	他の自治体の事例等参考にしながら検討する。
委員	課題の抽出を行うにあたり、AI の活用を検討すべき。
事務局	AI については現在 Copilot の活用を含め取り組んでいるところ。出典元の確認は必要だが、引き続き活用を行っていく。
委員	事業番号 18-1 や 18-3 に係わってくる部分で、事業の実施を目標に掲げていて良いのか。それが男女共同参画にどう繋がるのか見えてこない。
事務局	普段から男女共同参画を意識して事業を進めてもらいたいため、全庁的に幅広い事業を推進計画に位置付けている。 来年度、第 5 次計画の策定を進めていく中で、こういった事業を位置付けるのか改めて所管課と協議しながら判断して進めていく。
委員	新宿区は他自治体と比較して取組が進んでいるのか、把握したうえでミクロな視点で分析を行っていくのが良いのではないかと考える。
事務局	自治体によって差異があると思うが、他自治体の情報収集は日々行っているところ。そういった部分も踏まえ、年度ごとの事業の組み立てを行っていきたいと考える。
② 審議会等における委員の男女比率調査の結果について	
事務局	《資料 4 審議会等における委員の男女比率状況調べ》に基づいて説明
委員	事務局としては良いところまできたか、あるいはまだまだという印象か。
事務局	長期的なスパンで見ると改善してきていると考えている。
委員	現状達成できていないところは構造的な問題も抱えていると考える。次期計画の策定までに、委員の構成の仕方を含め検討できるよう事務局としてもご準備いただきたい。
次第 8 議題 第 12 期新宿区男女共同参画推進会議審議事項等について	

事務局	《資料5 第12期新宿区男女共同参画推進会議審議事項等について》 《資料6 男女共同参画に関する区民及び企業等への意識・実態調査の実施について》 《（参考資料）第四次男女共同参画推進計画（案）策定スケジュール》に基づいて説明
閉会	